



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

掲示板法話

母乳には利他の心が躍動している 拝み合う生活習慣が子育ての基礎

五月五日は子供の日、そして今年は十四日(第二日曜)が母の日です。毎朝近所の子供たちが境内の駐車場付近に集まって登校します。「おはよう。行ってらっしゃい」と声をかけますが、元気に挨拶する子ばかりとは限りません。小学生の子供たちも「学校に行きたくない日があるのかも...」と微妙な心情を感じます。

朝食をきちんと食べずに学校へ行く子は授業にも集中できない傾向が顕著です。「早く、早く」と急かされ、追い立てられるような家の子供は、落ち着きのない情緒不安定な子供になりやすいようです。

昔から「子は親の鏡」と言われるように、大人の問題が子供に影を落としている場合が少なくない。いじめ、不登校など学校の問題は家庭の問題、大人の側に問題の根っこがあることが多いのです。子供の心の鏡に映る親の姿が餓鬼(欲求不満)や畜生(ご恩知らず)のようであれば、子育ても教育も困難なことは明らかです。

幼き頃母に死別、父親にも生き別れなされた親鸞聖人の「和讃に次のよ

うな一首(浄土和讃)があります。

子の母をおもふがごとくにて

衆生仏を憶すれば

現前如来とをからず

如来を拝見うたがはず



「子供が母を想い慕うように、我々が仏さまの世界を願うならば、現世、あるいは未来世に遠からず、必ずみ仏さまにお会いできるでしょう」という意味です。「自身のごときは全く何も書き残しておられない親鸞さまが唯一「母」という言葉を残しておられるように、一層懐かしいご和讃です。子どもが母を慕い、亡き親を想う気持ちの根底には親の慈愛が一杯込められ、育てられた本能的な皮膚感覚が残っているはず。母乳を赤ちゃんに飲ませるお母さんにはオキシトシンというホルモン物質が分泌され、お母さん自身幸福感に満たされます。そこにはまさに仏様のような「利他の心」が自然に躍動しているのです。赤ちゃんはこの皮膚感覚で安心感を覚え、すくすくと育っていくのです。

☆行事ご案内☆

◆善正寺門信徒総会

5月21日(日)午前10時

真宗宗歌、門信徒会長・門徒総代・住職挨拶
28年度行事報告、決算・監査報告、役員改選報告
20年度行事計画、予算案審議、その他最近の宗教事情と寺院活動、運営上の課題について。恩徳讃。昼食懇談。
年に一度の門信徒総会、出欠票配布。奮ってご出席ください。

- ◆絵手紙教室 5月9日(火)午前10時、21回目川崎光子先生
- ◆キッズサンガ5月6日(土)4時 鐘撞き夕方5時、年中無休

- ◆三重組十三日講5月13日(土)午前・午後 曉覚寺様
- ◆三重組仏婦総会5月20日1時西光寺様三重組コーラスも参加。

◆西本願寺「伝灯奉告法要」団体参拝 5月11日(木)

集合場所、集合時刻は参加者40名に後日連絡。都合で不参加の場合は代理をお願いします。

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。
毎日更新ブログ「住職と坊守のつれづれ日記」好評。開設8年9カ月で23万5千訪問、一日平均90人、悩み相談、大歓迎！即返信

- ◆一縁会テレホン法話：059・354・1454お電話下さい3分間の法話が流れます。週替わりで5か寺の僧侶・坊守が担当。
- ◆新納骨堂：後継者の無い方、お墓でお困りの方ご相談下さい
- ◆法事場所でお困りの方；本堂使用可。寺にご相談下さい。



母親を慕う皮膚感覚が感じられるような生活習慣が大切なのです。それには食前食後に手を合わせて「いただきます」「ごちそうさま」という落ち着いた習慣づけが先決。そして一日一度は仏前に大人も子供もお参りする。そんな積み重ねが情操豊かで前向きな生き方のできる子供を育てることにつながります。どうか、子供たちの幸せな人生行路のためにも拝み合う生活実践を老若男女こそぞって心掛けたいものです。

写真アラカルト



坊守スケッチ

先代住職が夢枕に



先代住職(渡辺尚爾)が86歳で亡くなって今年で早27年。生家は三河の願照寺、6歳で母親の実家(紀州の覚照寺)に貰われ、18歳で子供のいない善正寺へ入寺しました。若い頃は苦勞の連続の人生でしたが、本山退職後の晩年は平穩な生活を送りました。

戦後10数年間の先代住職は、若者への教化活動に熱心でした。例えば演劇の脚本を書き上演、寺での合宿、仏教青年論大会の主催、「若木」という新聞作り等、当時の若者には新鮮で魅力的に映りました。

現役時代は本山や福井別院・神戸別院の輪番などを勤める傍ら、布教使としても活動しました。私と過ごしたのは15年間程。孫の世話や前坊守の看病などにも協力して下さる優しいお舅さんでした。實際我が長男の法話にも祖父の思い出話が度々登場します。例えば蟬を捕まえた孫に向かって「蟬のお母ちゃんが探しているよ。逃がしてあげようね」と諭しました。私にも「寺はなあ、世間があほらしいと思ふことを、させてもらってこそ本物やで」と教えて下さいました。

70年後の現在、先代住職から教化を受けた人は少なくなりましたが、その中の一人が、今度は私に教え伝えて支えて下さいます。先代住職が夢枕に立ったおかげで縁が深まりました。私も今の時代に相応しい教化活動を実践しなければ、先代住職に申し訳ないと、深く心に刻みました。

カンパありがとう!

阿曾香代子様、A〇様、他匿名様よりお志、切手等頂戴しました。感謝!

敬弔

★中本靖彦様(47歳・4月2日往生・四日市) 合掌

寄稿

四日市市 沢清風

花一つ 寿命不思議と 咲きにけり
いかなこの 釘煮一膳 朝餉かな
見上げれば 空に眩しく 白木蓮



☆若院夫婦の「育自な毎日」その29

3月で5歳になった長男の成長著しい最近の様子をお届けします。我が家では夕方5時の鐘つき後に、家族揃って庫裏と本堂の仏様にお参りをするのが日課です。甘えん坊だった長男が、最近とはびきり張り切っただけでも自分で決めたがりです。

今日は経本何ページからお勤めるのか、どの仏教讃歌をどんな振り付けで歌うのか等、仕切り屋に大変身!文字が読めるようになり、耳から覚えたい正信偈を確認するように、経本のひらがなを辿ります。仏教讃歌で時にはアアチャンのギター伴奏が入って大きな声で歌います。「この子は音程がしっかりしている。声もいい」と褒められると、ますますエスカレート。

3月の三重組十三日講や春季永代経法要、三全仏教婦人会総会でも張り切ってお参りしてくれました。終了後は、疲れて果ててぐっすり眠りました。ハラハラすることの連続ですが、全力投球で頑張ってくれます。

4月から幼稚園では年長組になりました。この一年間は平日のほぼ毎日剣道や英会話教室があり忙しくなりそうです。小学校に上がるまでに色々な準備も必要になるでしょう。

私も今年度はPTAの役員になりました。初めての経験で右往左往しそうですが、子供と一緒に最後の園生活を楽しみたいと思います。(若坊守)

お知らせ

- ◇5・11西本願寺『伝灯奉告法要』バス団体参拝(40名)は、近づきましたら詳細をご連絡します。「都合の悪くなった方は代理をお願いします。」
- ◇新世話方様(10名)選出の選挙で、3月中に行事さんが投票用紙を配布後日回収して4月16日夜の門信徒会で開票。当日新会長・会計の役割決めますので新旧行事さんの出席お願いします。選挙結果は門信徒総会(5/21)で発表します。現時点で未定。
- ◇5・21(日)午前10時「門信徒総会」昼食を準備します。出欠票を回収しますのでよろしく願います。
- ◇一月の大雪被害で本堂の樋と、庫裏の屋根瓦・樋が破損、修繕工事中です。ご迷惑をおかけしますがよろしく!

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第二八一号をお届けします。◇米中首脳会談の最中に、シリア空爆命令が発せられ、北朝鮮情勢も緊迫。◇「人の世は地獄の上の花見かな」という一茶の句を思い出す。◇だが、先日四〇代の父親を亡くした娘さんが看護師になろうと志した、という話を聞いた。また、雪崩で息子を亡くした親御さんが息子の角膜提供を申し出た。いずれも流した涙を無にせず、肉親の死をしっかりと受け止めて生の意味を見出したいという願いが感じられる。◇今月二十・二十一日は宗祖降誕会。今一度生の意味を問わねばならないと思うことである。合掌。

早いもので去年の五月親鸞聖人七五〇回大遠忌法要からもうすぐ一年が経ちます。連用日記を読み返すと昨年の今頃の緊張した日々を思い出します。大目標を掲げて門信徒が一丸となりました。これも皆様方のご支援の賜物です。この絆は長い歴史の中で培われたもの。ご先祖に感謝せずにはおれません。しかしながら昨今の寺を取り巻く環境は厳しさを増しています。高齢化と後継者難、家族形態の変化は驚くほどに様変わりです。さらには地域の絆も弱体化。寺の年間行事もひと苦勞です。そんな中で先日向こう四年間の世話方様選出の選挙が行われ、選ばれた方にはご苦勞をおかけしますが、よろしくお願ひ申し上げます。寺としても過去の役割を踏襲するのではなく、軽減化していきます。伝統とは小さな改革を積み重ねながら受け継ぐものです。ところで最近スマホを手放さない人が多くいます。会話が苦手でゲームに夢中、何でもネット検索で済みます等、スマホ依存症の人が増加中です。近い将来、工場で働く人、ホワイトカラーの人等、約二四〇万人の職業が消えるそうです。働く人の代わりにAIやロボットにお任せする時代が来ます。その一方で生きる意味を見失った人や悩みを抱える人は増えます。人の絆の弱まりは新たな不安や悩みを深め、孤独感を生みます。今後もうな、必要とされる寺になりたいと思ひます。皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

合掌